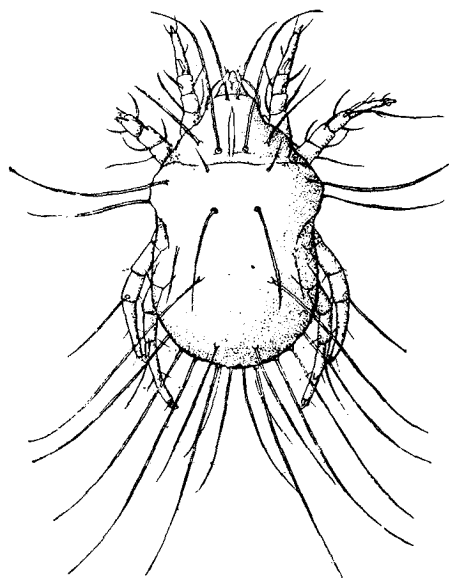


私の家に発生したコナダニ (Tyroglyphus) の一種に就いて

福 井 玉 夫



現在私の住んで居る家は、住込んでから八年になるが、昨年夏、米櫃や種々の食品を入れて置く押入の一部が一面にメリケン粉でもふりかけたやうに白くなつて居たので、何かの時にメリケン粉でも落したのだらうと、はたきをかけてすまして居た。薄暗い所であつたので動物とは氣が附かなかつたのである。所が數日たつて見ると又前と同じやうな状態になつて居るので不思議に思つてよく見ると白い粉が一面にモヤモヤ動いてゐるのでコナダニだとわかつたやうな次第である。此處に描いた

圖は、其時アルコールにはき入れて置いたものゝ一つであるが、一年近くもアルコールへ入れて置いたから形はあまり信用が出来ない。いくら縮んで居るやうである。毛の位置や數も出来るだけ正確に描いたつもりであるが、間違つてゐるかも知れない。大きさは $\frac{1}{2}$ 乃至 $\frac{1}{3}$ 耗位の小白點として見える。動物圖鑑の岸田氏のコナダニの圖及記載と比較すると少し違ふやうであるが、今手許に文獻がないので判定致しかねる。本年も發生するかも知れないが、去年のやうに澤山出たら調べて見ようと思つてゐる。其時には奇妙な事に葡萄酒の瓶に一番澤山たかつて居て、他には割合に少いやうであつた。